

| | |
|--|--|
| 館の運営方針 | 佐倉市立公民館活動計画を基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。 |
| ジャンルの目標 | |
| 子供の人間形成にかかわる家庭教育の支援として、子供と保護者を対象に、子供とともに育つ「共育」の場を提供するとともに、交流する機会も提供する。 | |

★個別事業評価一覧

| No. | 事業名 | 事業の内容 |
|-----|-----------------------------|--|
| ① | 親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ | 絵本や親子遊び・体操を通して、幼児の想像力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す。また、参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する。 |
| ② | ぽっぽちゃんくらぶ番外編 親子で自由表現ダンサーに变身 | 親子で型にとらわれない自由なダンスと一緒に踊ることで、子供の創造的な発想力を培い、保護者も一緒に参加することにより、親子間のコミュニケーションを図る。なお、保護者は育児により疲れた身体と心のメンテナンスもできる。 |
| ③ | 親子ふれあい教室 | 親子で一緒に体操をすることで、子供の身体の発達を促すとともに、家族の関わり方を学ぶ。また、保護者同士の交流や情報交換をはかる。 |
| ④ | 親子体験教室 | ザリガニ釣りや工作など遊びや体験活動を通して、親子のコミュニケーションを深める機会を提供するとともに、知識や技能を身につける。また自分達で計画・準備・活動することにより、創造力や自主性を育み、家族の大切さを学ぶとともに、参加者同士や地域の方などとのつながりを深め、仲間作りの場を提供する。 |
| ⑤ | 食育実践講座 | 豊かで健全な食生活を実践するため、正しい「食」の知識を身につける。また、子供を取り巻く環境として、両親の共働きや核家族化が進み、孤食となりがちな傾向にある中、親子でのコミュニケーションがいかに大切かを学ぶ機会を提供する。 |
| ⑥ | 子育てママのためのヨガ・ストレッチ講座 | 同世代の子育て中の保護者たちが、ヨガやストレッチによって体を動かすことでリフレッシュし、併せて仲間作りをする場を提供する。 |

★ジャンル総合評価

| 個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般 | | |
|--|--------------|---|
| 企画 | 企画段階での課題と解決策 | A A:各個別事業の想定課題は正しかった。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。 |
| 実施 | 実施しての課題と解決策 | B A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。 |
| 点検 | 点検しての課題と展望策 | 定員割れを防ぐため、広報を継続的に行うとともに、広報の仕方についても工夫していきたい。 |
| 改善 | 次年度への課題と展望策 | B A:事業拡大。 B:現状規模での継続。 C:事業縮小。 D:目的達成により終了。 E:統合・改善・その他 () |

| 総合評価 | |
|---|--|
| B 事業規模 A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。 | 成果 当初のならいである子供の心身の成長を促し、親子間のコミュニケーションを深める機会を提供することができた。また、参加者である子供同士及び保護者同士の交流も深まり、さらに情報交換や子育ての不安を解消することもできた。 |
| | 課題 受講者の受講中の様子や受講後のアンケートからも、家庭教育事業に対する関心の高さをうかがえるが、全体的に受講者が少なく、対象者に情報が届いていないと思われる。今後は事業の充実を図るだけでなく、広報の仕方についても工夫する必要がある。 |

★公民館運営審議委員意見

| | |
|------|--|
| 委員① | ★事例発表の事業について ・後期クラブの為にやった対策は素晴らしい。今後は保育園や幼稚園がやっている内容と重複しないように工夫する必要がある。 |
| 総合評価 | A |

| | | |
|------|---|---|
| 委員② | | <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年続いている「ぼっぼちゃんくらぶ」は根郷公民館の幼児教育(家庭教育)で定着し好評です。少子化で子どもが集団で遊べる貴重な機会になっていると思います。子どもは遊びを通してたくさんを学びます。参加した親同士の繋がりができるので成果も大きいです。今後も継続してください。子どもの健康についても専門的な立場からの助言は安心できると思います。講座依頼実現してください。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|---|
| 委員③ | | <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく考えられたプログラムだと思う。体験、学び、交流が絵に描いたように教室の中にある。何よりも、前期の反省を直ちに後期に生かしながら、事業の拡大・拡充を図っていく担当者の慧眼に関心させられる。内容こそ最大の課題ではあるのだが、まずは何よりも教室のドアを叩いてもらわなければならない。情報発信の方法を拡大して対応したことが、参加者増という数の成果に直ちに結びついている。地域新聞に掲載された記事を読むと、狙いや実際の内容が直接伝わってくる。発行されたチラシとは情報発信力に大きな違いがある。写真を見るだけでも教室内容や参加者の様子をうかがい知ることができる。2枚のチラシには、そのような発信力が弱い。せつかくの内容なのだから、何よりも「伝わる情報発信」を研究してもらいたい。課題の中に、同様の「講座が児童センターや保育園、幼稚園などで多くあり、対象者が分散する傾向がある」とあるが、公民館という枠を破って、連携講座や交流をもっともつと図ってみることも検討できないだろうか。そこから、家庭教育の地域連携が見えてくるような気がする。期待したい。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|---|
| 委員④ | | <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題でもある参加人数を増やすために対象年齢の幅の拡大や広報の工夫、母子での参加から家族の参加を考え、土日を設定するなど色々な努力が感じられました。参加人数の課題は、兄弟がいる子育て中の母親もいると思うが、1期12回という回数は参加したい気持ちはあっても「通いきれるかな？」という思いもあるのではないのでしょうか。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|--|
| 委員⑤ | | <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化及び共働きの現在、参加を募るのに苦慮していると見受けられる。幼児と親子の集いは児童間同士や保護者同士、親子同士等を通じて交流と仲間づくりを提供する場であることから大切な事業であります。後期は定員に達した実績を参考にしつつ継続を望みます。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|---|
| 委員⑥ | | <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢層の拡大、同伴兄弟の受け入れ等工夫されている点を評価したい。専門知識を持つ方を講師に招くと同時に事例の中にあつた絵本や体操の講師の方、公民館職員の方の「気づき」の中から、専門機関に繋げていくような配慮をお願いしたい。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|--|
| 委員⑦ | | <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぼっぼちゃんくらぶ」は集団で遊ぶ中で幼児期の人格形成を促すことと、参加保護者同士の交流を通じて、地域での強いつながりを図ることを目的としているわけで、これは公民館事業として、非常に意義のあることだと思います。また、事業内容も良く考えられています。年齢層の拡大は来年も継続していただきたい。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|--|
| 委員⑧ | | <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的にまとまってよく理解できた。家庭環境の大きな変化の中で行き届いた取組みが伝わってきた。「食育実践講座」は参加者が結果的に少なかったが、内容の充実で参加者の満足を得ている。人数だけにとらわれず中身も重要である。募集方法で、寿大学生にチラシ等を配布し直接生の声で孫や近所の子どもの参加を振り起こすことも一つの方法かと考える。(参考) |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|---|
| 委員⑨ | | <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族参観日などの活動内容、範囲を拡大する広報活動等の工夫が功を奏して参加者が増え、活性化されたのは良かった。 ・ダンスも活動を継続しながら、広報活動を広げていっては・・・と期待する。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|---|
| 委員⑩ | | <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で遊ぼう「ぼっぼちゃんくらぶ」の参加者減少化傾向を防ぐため、佐倉市の「健康管理センター」との協調が必要と思う。また所管エリアの自治会、町内会の住民を対象として、自治会集会所を活用し回覧板で広報募集してみてもどうかと思う。募集方法で、寿大学生にチラシ等を配布し直接生の声で孫や近所の子どもの参加を掘り起こすことも一つの方法かと考える。(参考) |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|--|
| 委員⑪ | | <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土・日などに家族参観日が設けられていますが、「母親と子どもの学習状況」を見てもらうのも良いですが、その日は思い切って父親等に幼児を預けて、遊ぶのを母親が見ているなどはどうでしょうか？また母親同士の悩みや経験交流など、話し合う時間を加えるなどしたらどうでしょうか？ |
| 総合評価 | B | |

| | | |
|------|---|---|
| 委員⑫ | | <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容も豊富で、子育てを一緒に楽しめているようで、良いと思います。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|---|
| 委員⑬ | | <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な体をつくっていくための努力がよく伝わってきました。 |
| 総合評価 | A | |